

## 水稻の生育状況と今後の管理対策（第2号）

令和7年6月11日  
新潟県農林水産部

### 〔6月10日現在の県内全域の生育概況〕

- コシヒカリでは指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少」、葉数の進み及び葉色は「並」ですが、地域差が大きい状況です。
- コシヒカリの茎数は、県の調査ほ（田植日の平均は5月12日）の平均値では208本/m<sup>2</sup>（目標穂数350本/m<sup>2</sup>の60%）となっており、数日で中干し<sup>\*1</sup>開始の適期に入ると見込まれます。
- 新之助では指標値に比べ、草丈は「やや短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」、葉色は「淡い」状況です。

\*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。

### 〔気象予報と今後の生育見込み〕

- 6月5日発表の北陸地方1か月予報（6月7日から7月6日）は、平均気温は高く、降水量と日照時間はほぼ平年並みと予想されています。特に期間の前半は気温がかなり高くなると見込まれています。
- 6月10日に梅雨入りしたとみられます。今後は曇りや雨の日が多い見込みであり、茎数の急増と草丈の伸びが予想されます。

### 〔今後の管理対策のポイント〕

- 田植えの早いほ場は中干し時期となっていますので、直ちに中干しを開始しましょう。
- 5月中旬以降に田植えしたほ場では、今後、急激に茎数が増加すると考えられることから、直ちに茎数を確認し、遅れずに中干しを開始してください。
- 中干しの効果を高め、異常高温・乾燥時に速やかなかん水が行えるよう、溝切りを必ず実施してください。
- 補植苗はいもち病の伝染源になるので、直ちに除去してください。
- 斑点米カメムシ類の密度を抑制するため、雑草が結実しない間隔で草刈りを行いましょう。

#### コシヒカリ

- 良質茎の確保と倒伏防止のため目標穂数の7～8割の茎数になったら直ちに中干しを開始してください。
- 高地力など、生育が過剰となりやすいほ場では目標穂数の6～7割をめやすに中干しを行い、茎数の増加を抑えてください。

#### 新之助

- 特に茎数が急増しやすい品種のため、茎数をこまめに確認し、目標穂数（400本/m<sup>2</sup>）の7～8割の茎数になったら直ちに中干しを開始してください。
- いもち病に弱いことから、箱施用剤を使用していない場合は、必ず葉いもち防除を行ってください。

## 中干し程度のめやす



- ◎中干しの強さは、小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度とする。
- ◎ただし、生育量が指標値に比べ大きいほ場では、早めに中干しを行い、茎数の増加を抑える。

- ◎乾かしすぎて大ヒビが入ると、根が切断されたり、発根が抑制される。
- ◎高温が続き、田面に大きなヒビが入ることが想定される場合には、走り水かん水を行う。

## 熱中症予防

- 急激に気温が上がった場合や、湿度が高い場合は熱中症発生のリスクが高まります。
- 農作業中は、定期的に水分・塩分を補給し、帽子等で直射日光をさえぎるほか、暑さ対策用品を活用して身体を冷やすなどの熱中症予防対策を必ず行い、健康管理に十分注意しましょう。
- 気温の高い時間帯に作業しない、単独で作業しない、休憩はこまめに取るなど、十分配慮してください。

## 〔補足資料〕

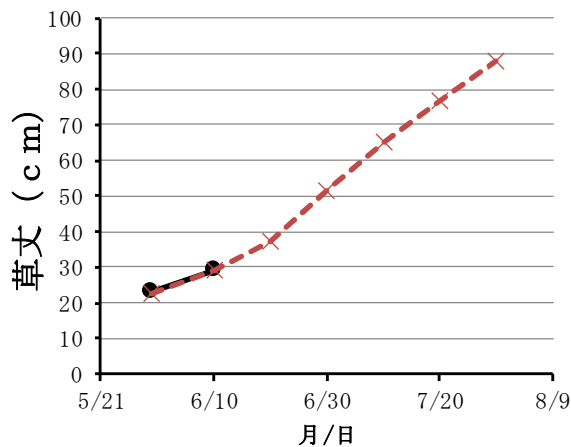
### 1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（6月10日現在）

#### コシヒカリ

○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少」、葉数の進み及び葉色は「並」です。

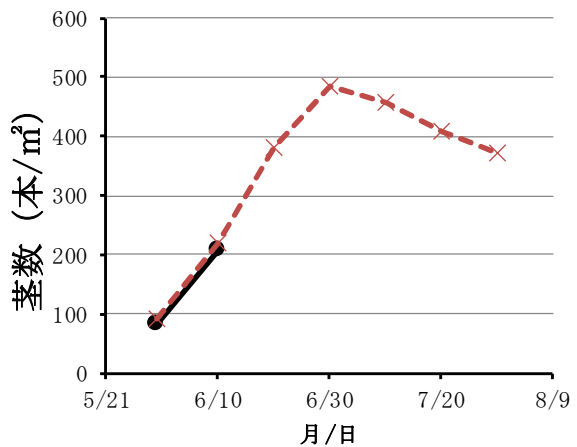
項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	29 cm	29 cm	並	100%
茎数	208 本/㎡	219 本/㎡	やや少	95%
葉数	7.0 葉	6.9 葉	並	+0.1 葉
葉色 (SPAD 値)	36.3	36.4	並	-0.1

注) 県内全域の14生育調査ほデータの平均値（田植え5月12日、栽植密度17.2株/㎡）。



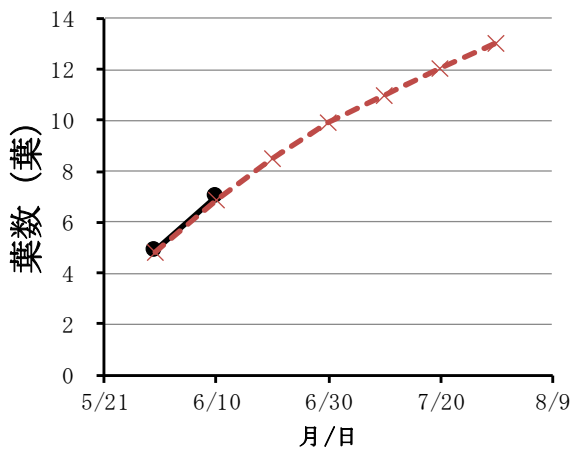
● 本年値    -x- 指標値

草丈の推移  
(県全体)



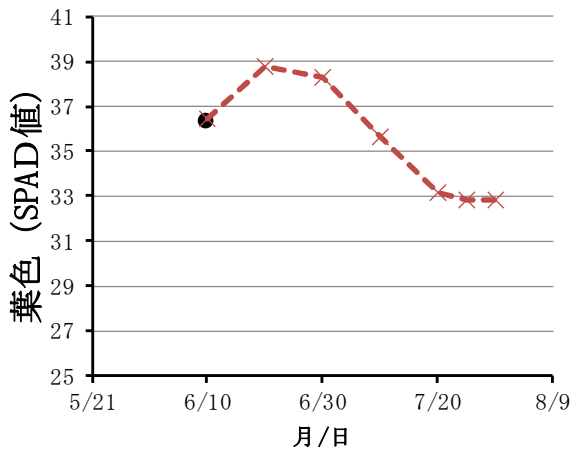
● 本年値    -x- 指標値

茎数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

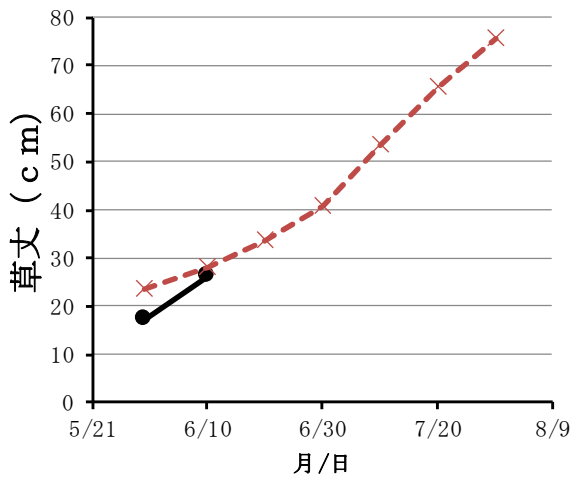
葉色の推移  
(県全体)

## 新 之 助

○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「やや短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」、葉色は「薄い」です。

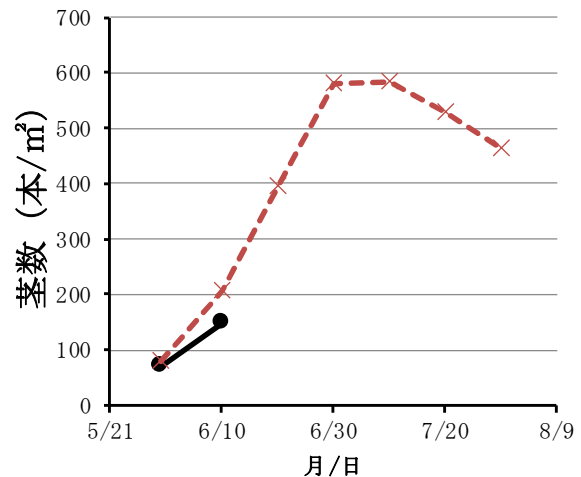
項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	26 cm	28 cm	やや短い	93%
茎数	146 本/m <sup>2</sup>	206 本/m <sup>2</sup>	少ない	71%
葉数	5.9 葉	6.8 葉	遅い	-0.9 葉
葉色 (SPAD 値)	32.5	36.2	薄い	-3.7

注) 県内全域の14生育調査ほデータの平均値(田植え5月19日、栽植密度16.7株/m<sup>2</sup>)。ただし、葉色は県内全域13生育調査ほのデータ平均。



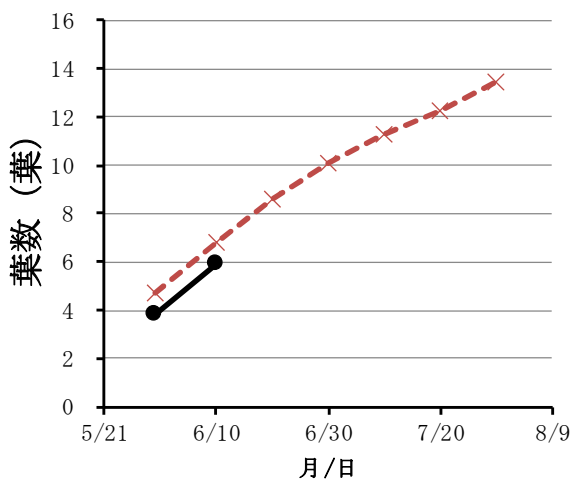
● 本年値    -x- 指標値

草丈の推移  
(県全体)



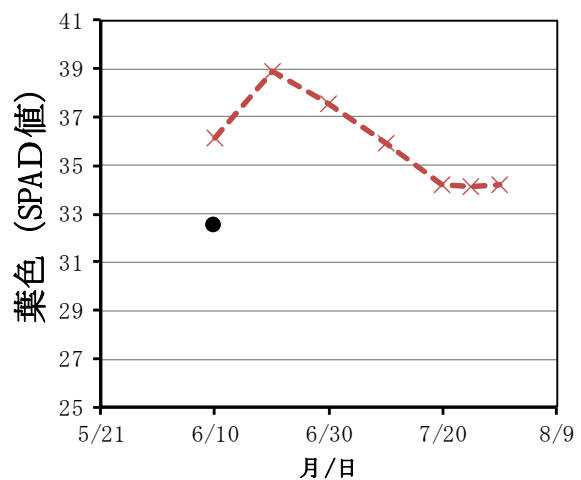
● 本年値    -x- 指標値

茎数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉数の推移  
(県全体)



● 本年値    -x- 指標値

葉色の推移  
(県全体)

## こしいぶき (参考)

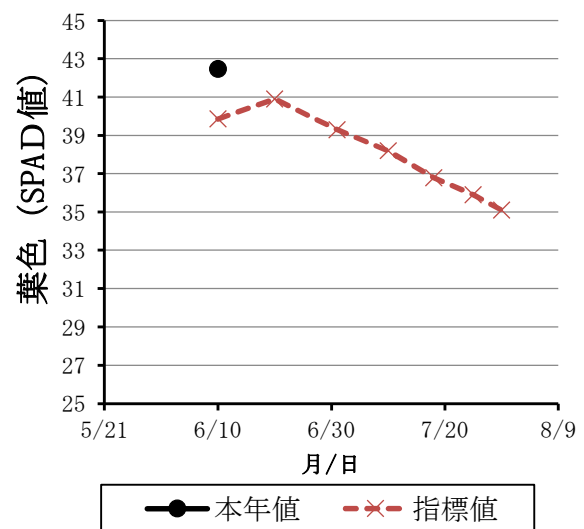
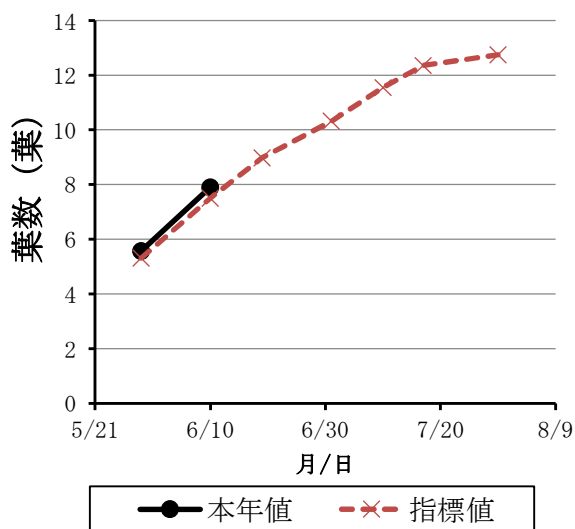
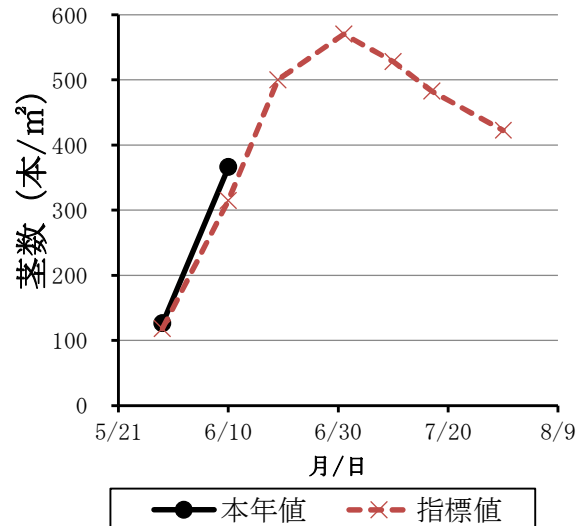
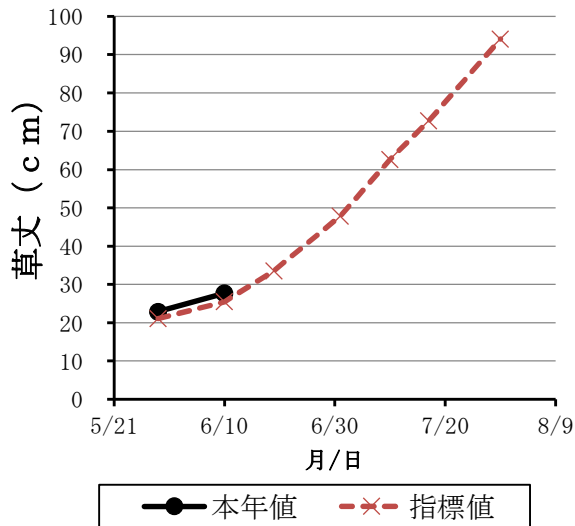
○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「長い」、茎数は「多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「濃い」です。

項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	28 cm	25 cm	長い	112%
茎数	366 本/m <sup>2</sup>	315 本/m <sup>2</sup>	多い	116%
葉数	7.9 葉	7.5 葉	やや早い	+0.4 葉
葉色 (SPAD 値)	42.5	39.9	濃い	+2.6

注1) 化学肥料栽培。田植え5月9日、栽植密度18.7株/m<sup>2</sup>

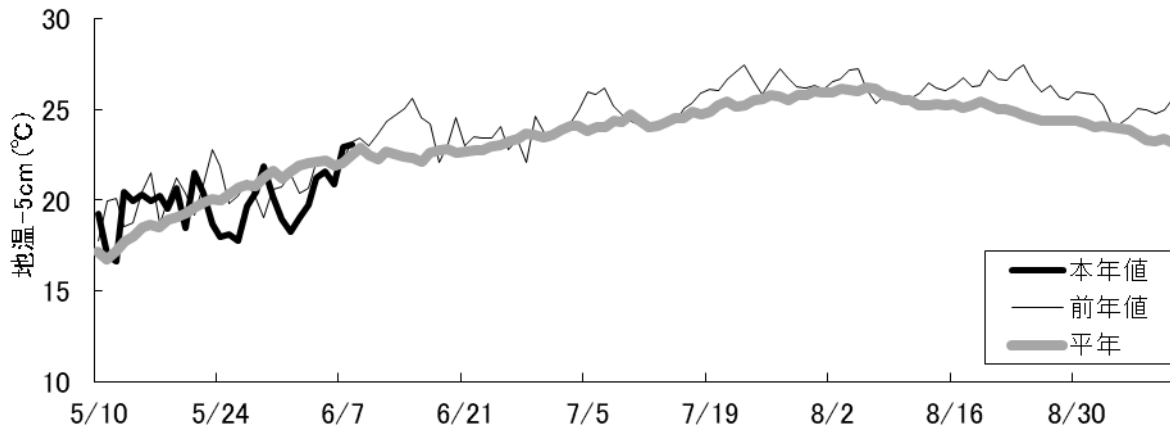
注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

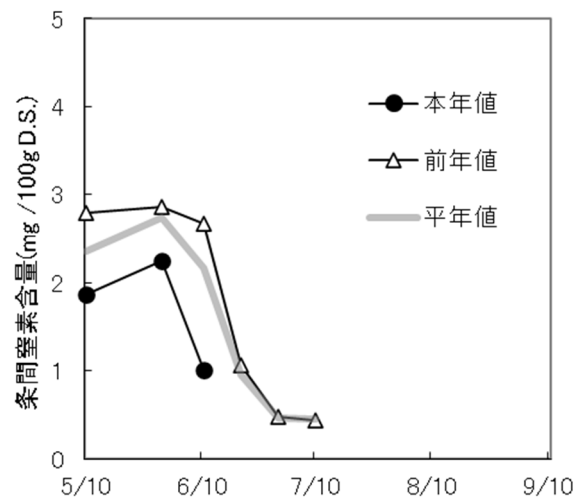


## 2 ちりょく 地力窒素の発現状況

- 5/28～6/9 の期間の日平均地温は平年差-1.1℃でやや低く推移しました。条間窒素含量は期間を通して平年よりも低く推移しています。



水田地温（5 cm 深）の推移  
 （農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）



条間窒素含量の推移（6月9日）  
 （農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）  
 田植日：5月9日、化学肥料栽培  
 基肥窒素成分量：3.5 kg/10a